

Piacere

2019

2019

5.6

(月)

18:00 開演
(17:30 開場)

愛知県芸術劇場
コンサートホール

入場料(全自由)
3,000 円
3歳以下の入場不可



Concerto

Piacere Concerto Series vol.17

◆チケット取り扱い◆

芸文プレイガイド
☎052-972-0430

ピティナ

<http://www.piano.or.jp/>

ピアチーレ・ムジカ

piacere.musica@gmail.com

◆後援◆

愛知県教育委員会
名古屋市教育委員会
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(一社)セントラル愛知交響楽団

◆主催・お問合せ◆

ピアチーレ・ムジカ

<http://www.piaceremusica.com/>

090-1090-2488(長浦)

090-3954-9847(清水)

河江美空 Piano

グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16 第1楽章

荻原 瑞 Piano

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 Op.37 第1楽章

渡辺友梨香 Piano

ラヴェル:ピアノ協奏曲 ト長調

鈴木健介 Piano

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op. 23 第1楽章

岩月仁美 Piano

リスト:ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S.124/R.455,H4

太田友梨 Soprano

モーツァルト:オペラ「ツァイーデ」より 安らかにやすみなさい、私の愛しいお方よ ほか

指揮:松井慶太 管弦楽:セントラル愛知交響楽団



河江美空 Piano

Miku Kawae

3歳よりピアノを始め、6歳よりヤマハ音楽教室ジュニア専門コースに学ぶ。これまでに、遠藤誠津子、今野尚美、中沖玲子の各氏に師事。またラルフナットケンパー氏の特別レッスンを受講。

ピティナ・ピアノコンペティションにおいて、2014年ソロ、2015年ソロ並びにデュオ、2017年ソロ並びにデュオ、2018年ソロ部門において、全国決勝大会入選。同入賞者コンサート「あしながヤングピアニストコンサート」に2015年より毎年出演。2016年愛知ピアノコンクール連弾部門金賞。2016年ベートーベン国際ピアノコンクール第4位。2017年、2018年ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会入選。2018年日本演奏家コンクール第2位。

現在、名古屋市立城山中学校1年在学中。

荻原 瑞 Piano

Mizuki Ogiwara

6歳よりピアノを始め 南出有希氏に師事。現在、長浦智子氏に師事。
2018年男声合唱団 Ein Prosit! 知多公演(武豊ゆめたろうホール)に出演。
現在、愛知県立半田東高等学校1年在学中。



渡辺友梨香 Piano

Yurika Watanabe

4歳よりピアノを始める。名古屋市立菊里高校音楽科を経て東京藝術大学器楽科ピアノ専攻1年在学中。
第70回全日本学生音楽コンクール名古屋大会2位、全国大会入選。第4回豊田音楽コンクール金賞グランプリ。第26回愛知ピアノコンクール金賞・中日新聞社賞。第19回大阪国際音楽コンクールファイナリスト。若い芽のコンサート、菊里高校定期演奏会、ぎふリスト音楽院教授陣推薦による受講生コンサートなどに出演。これまでにF シャーンドル、M ランガー、P ドゥバイヨン各氏のマスタークラスを受講。

これまでに大島晶子、長野量雄、江口 玲の各氏に師事。

鈴木健介 Piano

Kensuke Suzuki

5歳よりピアノを始める。ピアノを山本依美、石原世津子、伊藤壽美子の各氏に師事。現在、鈴木謙一郎、関本昌平の両氏に師事。
同朋高校音楽科を経て、名古屋音楽大学ピアノ演奏家コース2年に在学中。
ヤマハグランドピアノサロン名古屋にて、サロンコンサートに出演。



岩月仁美 Piano

Hitomi Iwatsuki

ヤマハジュニア専門家コース終了後、故横谷洋子、杉浦日出夫、加藤美代子、米川幸余の各氏に師事。現在、川井綾子、本村久子の各氏に師事。

第32、33回ピティナ・ピアノコンペティション地区本選優秀賞。第14回大阪国際音楽コンクールファイナリスト。第3回日本パッサコンクール全国大会金賞並びにパッサ賞。第68回全日本学生音楽コンクール名古屋大会本選入選。愛知県立明和高等学校サマーコンサート出演。第34回愛知ピアノコンクール2台ピアノ部門 金賞・中日新聞社賞。愛知県立芸術大学 第51回定期演奏会、学内選抜によるピアノ名曲コンサート出演。

愛知県立明和高等学校音楽科を経て、現在愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノコース4年在学中。

太田友梨 Soprano

Yuri Ohta

第66回全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第3位、並びに受賞者記念演奏会に出演。国立音楽大学在学中にW.マッテウツィ氏の公開レッスンを受講。ソロ・室内楽定期演奏会、卒業演奏会、読売中部新人演奏会に出演。
これまでに声楽を林 八重子、澤畑恵美の各氏に師事。

桜丘高等学校音楽科を経て 国立音楽大学音楽学部演奏・創作学科声楽専修を卒業。並びにオペラ・ソリストコース修了。現在、国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻オペラコース1年在学中。



松井慶太 Conductor

Keita Matsui

84年、青森県生まれ。3歳よりピアノ、15歳よりオーボエを学ぶ。16歳の時、ピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。06年、韓国で行われたアジア・フィルハーモニー管弦楽団に参加し、指揮をチョン・ミョンフンに師事。07年、東京音楽大学指揮科卒業。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、ピアノを島田玲子、宮原節子、オーボエを安原理喜、音楽理論を久田典子の各氏に師事。第15回「東京国際音楽コンクール」<指揮>入賞、奨励賞。また、ハンガリーのブダペストにてドナウ交響楽団を、チェコのブラハにてブラハ交響楽団室内オーケストラを指揮し好評を博す。国内では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団等を指揮。08～14年には、NHK交響楽団定期演奏会(シャルル・デュトワ指揮:ストラヴィンスキー「エディプス王」、ヤナーチェク「グラゴル・ミサ曲」、プリテン「戦争レクイエム」、マーラー『千人の交響曲』、ファビオ・ルイーダ指揮:オルフ「カトゥーリ・カルミナ」「カルミナ・ブラーナ」等、東京混声合唱団)の合唱指揮者として公演を成功に導いた。11年、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスに就任。同楽団とは「水のいのち」fontec/EFCD-4178、「クリスマス合唱名曲集」Octavia Records/OVCL00478、「日本の合唱名曲セレクション 20」FOCD-9687/8等をリリースしている。

セントラル愛知交響楽団 Orchestra

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997年岩倉市の好意による練習場の無償借用や事業補助を機会に、セントラル愛知交響楽団と名称を変更。2009年4月より一般社団法人として再出発する。2013年に創立30周年を迎え、2014年4月から音楽監督にチェコの名匠レオシュ・スワロフスキーが就任、楽団として新たなスタートを切る。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外では2007年7月、8月中国内蒙古自治区、2009年9月タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年9月韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演を行い、成功を収めた。また、2015年7月に半田市と音楽文化振興の協定を締結し、2016年度よりさまざまな事業が行われる。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評をもって迎えられている。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」受賞。

Profileは2019年1月現在のものです